

企画総務グループ打合せ（平成 29 年度 第 1 回）議事録

日 時：平成 29 年 6 月 15 日（木） 13:00～15:00
場 所：JGS 会館 3 階小会議室
出席者：安田、峯岸、福原、石川、川原井、斎藤、永尾、林、渡邊、若井、青木(事務局)
欠席者：

1. 前回議事録の確認

- ・平成 28 年度第 4 回企画総務グループ幹事会議事録（2/7） 【別紙－ 1】
- ・平成 28 年度第 4 回運営委員会議事録（2/24） 【別紙－ 2】

→内容が確認された。

2. 最近のスケジュール

- ・平成 29 年度第 1 回運営委員会：平成 29 年 6 月 30 日（金）14：00-17：00
- ・第 59 回通常総会（本部）：平成 29 年 6 月 9 日（金）14：00-16：45
- ・第 52 回地盤工学研究発表会（本部）：平成 29 年 7 月 12 日（水）～14 日（金）
- ・第 14 回地盤工学会関東支部発表会 Geo-Kanto2017：平成 29 年 11 月 17 日（金）

→内容が確認された。

→地盤工学貢献賞については、役所業務の表彰も念頭に置き、ゼネコンと役所の連名で応募していただけのようにアナウンスに努めることが確認された。

3. 支部長特命事項対応他、運営管理上の報告・協議

- (1) 平成 28 年度企画総務グループ体制について 【別紙－ 3】
 - 安田支部長の挨拶後、各委員の自己紹介を行った。
 - 企画総務 G 趣意書及び年間スケジュールを確認した。
 - 地盤工学会誌：渡邊幹事、Newsletter No40：林幹事、No41：斎藤幹事 が担当することとなった。
Newsletter No40 の巻頭言は安田支部長、No41 の巻頭言は第 1 回運営委員会にて依頼することとなった。
- (2) 平成 29 年度支部役員体制について 【別紙－ 4】
 - 内容を確認した。
- (3) 平成 29 年度関東支部総会議事録 【別紙－ 5】
 - 国際部から国外の研究委員会に参画しているリストを入手し、動向を把握することとした。
- (4) 第 59 回通常総会ご出席のお願い 【別紙－ 6】
 - 安田支部長より、状況を報告していただいた。関東支部の本部からの交付金額が多いとの認識違いがあり、本部より換算率を含めて説明があったとのことである。
- (5) 「第 19 回事業企画賞」決定のお知らせ 【別紙－ 7】
 - 歴史遺産・・・研究委員会であり、横須賀市の方も出席され、同市の広報に掲載される予定。
- (6) 「地盤工学会誌」支部編集委員について 【別紙－ 8】
 - 渡邊幹事（鉄道総研）に対応していただくこととなった。
- (7) 「地盤工学会誌」学生編集委員の推薦依頼 【別紙－ 9】
 - 那須郁香氏（早大：小峯先生）を推薦することとした。
- (8) 出前授業依頼：（一社）群馬県建築構造設計事務所協会総会後の講演会 【別紙－10】
 - 内容を確認した。（安田先生・峯岸先生で既に対応済み）
- (9) 法律家・消費者のための住宅地盤 Q & A 発刊 【別紙－11】
 - 企画総務 G で広報窓口（副幹事長）を設け、関連する誌面にアナウンスを行う。まずは、依頼先のリストを作成することとなった。
- (10) 【本部 会員・支部部より支部長へ】会員増加の取り組みに関するお願い 【別紙－12】
- (11) 全国研究発表会での『本部・支部連絡協議会』での議事について 【別紙－13】
 - 会員データベースから会員の分野・所属先を把握する必要があるので、

最新情報の更新をお願いしたい。

→特別会員のメリットが浸透しているのか疑問であり、現在の特別会員に改めて特別会員ができることを周知する必要がある。

→清水建設では、社内教育に社内 CPD を用いている会社もあり、積極的に G-CPD を使っていただけるような広報活動も必要か？

(1 2) メール審議：「UAV の実利用に関するシンポジウム」後援依頼 【別紙-14】
「栃木県グループ勉強会～地盤にひそむリスクを学ぶ」

→内容を確認した。

(1 3) 70 周年、全国大会及び企画に関して

→6/26 (月) 桑野実行委員長、安田支部長、峯岸幹事長、石川副幹事長、福原副幹事長、古関理事の 6 名で打合予定であることを報告した。

(1 4) 平成 29 年度前期 支部交付金の送金について 【別紙-15】

→前期概算払いは、664 百万円となった。

(1 5) H29 年度予算執行状況について (5 月末現在) 【別紙-16】

→5 月末時点では、支部交付金が入金され、支出は固定費が計上されているのみである。

(1 6) 若井先生：県 G の横断的な活動の提案 【別紙-17】

→(仮称) 弘仁地震発生 1,200 周年 防災シンポジウム に関する概要の説明がなされた。

4. 開催結果、進捗状況の報告

(1) 4/28 (金) 【開催済】支部総会後の特別講演会「海洋鉱物資源開発に関する我が国の政策と産官学での取り組み、参加者 76 名

(3) 5/10 (水) 【開催済】後援行事：「UAV の実利用に関するシンポジウム～IoT は土木の未来をどう変えるか～UAV による茨城大学工学部キャンパス撮影を交えて」、参加者 50 名

(2) 6/2 (金) 【開催済】(一社) 群馬県建築構造設計事務所協会総会後の講演会「群馬県の地質と災害地盤」、参加者 84 名

(3) 6/22 (金) 栃木県グループ勉強会「地盤にひそむリスクを学ぶ」

→内容を確認した。

5. その他

(1) 退会届

- ・株式会社ミカミ (4 級)：退会理由 学会を利用する事がないため
- ・信幸建設株式会社 (4 級)：退会理由 諸般の事由
- ・日本海上工事株式会社 (4 級)：退会理由 職種が変わって地盤工学と関係なくなったため
- ・株式会社ブレーンズ (4 級)：退会理由 加入している学協会見直しの為
- ・国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所 (4 級)：退会理由 諸事情により
→東川企画部長 (関東地整) に慰留。6/14 退会取消の連絡有。

級変更

- ・地盤ネット株式会社 2 級→3 級

除籍

- ・GA サーベイ株式会社 (4 級)
- ・KJS 協会 (4 級)
- ・NEC ソリューションイノベータ (4 級)

(2) 新入会

- ・調和工業株式会社 (4 級) 3 月入会
- ・一般社団法人栃木県地質調査業協会 (4 級) 4 月入会

→除籍に関しては、慰留することもできないので除籍とならないタイミングで情報を本部より回していただく必要があることが指摘された。

次回は、次回運営委員会時期を踏まえて、改めて調整することが確認された。